

1	事業名称	信州高遠ボランティア養成研修				
2	新規・継続	継続				14年目
3	趣 旨	国立信州高遠青少年自然の家の自然環境を活かした様々な体験活動や学習を通して、青少年教育施設における子どもたちの体験活動を支えるボランティアとしての必要な知識・技術について研修する。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	5月21日(土)	～	5月22日(日)	1泊2日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家				
6	募集人数	30人				
7	共催・協力・後援	後援：長野県教育委員会 山梨県教育委員会 愛知県教育委員会 協力：国立大学法人信州大学、国立大学法人上越教育大学				
8	参加者人数	51人				
9	参加者類型	大学生49人、高校生2人				
10	参加者地域	長野県39人、新潟県10人、神奈川県2人				
11	参加者分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者は、教育参加の学生、以前に教育参加等で事業経験がある学生、法人ボランティアの呼びかけでボランティア活動に興味をもった学生などであった。</li> <li>前年同様、近隣地区高等学校へも広報活動を行ったところ、学校を通して2名の申込・参加があった。</li> </ul>				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
		92%	8%	0%	0%	
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分とそこまで歳も変わらない先輩ボランティアの方々が、こんなに色々なことを真剣に考えていて感心しました。私もこのままではいけない！何か変わらなきゃ！と思いました。</li> <li>気軽にこの研修に申込をしたけど、この二日間を通してボランティアとは何なのか、ボランティアは何の為にやるのかとも考えさせられた二日間でした。</li> <li>自分達のボランティア活動を通じて、子供達に良い影響を与えることができるのだと感じた。</li> <li>“体験する機会の減少”という言葉にはっとさせられた。子供に何か伝える前に、自身で体験したい。</li> <li>先輩ボランティアの話聞いて、私も色々な事業を企画から作ってみたいと思いました。</li> </ul>				
14	成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師による講義で、参加者は青少年にとっての体験活動の重要性などを学び、外部講師から刺激を受けて、ボランティアとして自分もそこに関わって協力していきたいと強く感じている様子だった。</li> <li>2日目は、先輩ボランティアの経験談や実際の活動内容を聞いたり、十分な質疑応答をして、参加者はボランティア活動の具体的なイメージを膨らませることができた様子だった。</li> <li>前年度の反省から、各講習間の休憩時間や、少しゆっくりりできる時間を意識的に確保したことで、参加者は講習毎に気持ちを切り替えて集中していた。また、参加者同士の交流場面も増え、今後のボランティア活動に向けて充実した研修となった様子がうかがえた。</li> </ul>				
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>日程の過密さは今回多少改善できたものの、やはり2日目には参加者の疲れが見えるため、引き続き日程の改善を検討していく必要がある。</li> <li>協力大学からの教育参加学生の受け入れと、今後積極的な活動参加が期待できる自主的な申込者の受け入れのバランスについては、検討する余地がある。あまり多くの参加希望者を受け入れると、今後のボランティア活動の場の確保が困難になるため、長期的な視野で参加者受け入れを検討する必要がある。</li> </ul>				
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回のねらいとして、各カリキュラム間の休憩時間や、自由時間を意識的につくることで、参加者が気持ちを切り替えながら各カリキュラムに集中でき、参加者同士の交流も深めることが出来るようにした。そうすることで、本研修や施設に対して良いイメージをもち、今後のボランティア活動参加へのモチベーションが上がることを期待した。参加者全51名がボランティア登録した結果や、受講後の参加者の様子からは、その成果があったように感じられた。</li> </ul> <p style="text-align: right;">担当 林 健介</p>				

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	担当（講師等）
<b>5月21日（土）</b>		
10:15～10:40	開講式	
11:00～12:00	講義Ⅰ「自然の家ってどんな施設？」（青少年教育施設の現状と運営）	国立信州高遠青少年自然の家 ボランティア・コーディネーター
13:00～14:30	講義Ⅱ「“今”の子どもたちを知ろう」（青少年教育の理解）	国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター客員研究員 小林 道正 氏
15:00～19:00	演習Ⅰ「仲間と一緒に火をおこしてカレーをつくろう！」（ボランティア活動の技術：野外炊飯）	国立信州高遠青少年自然の家 職員
19:00～19:30	説明Ⅰ①「法人ボランティアになるには？」（青少年教育施設におけるボランティア活動）	国立信州高遠青少年自然の家 ボランティア・コーディネーター
19:30～20:30	演習Ⅱ①「もしものときの手当てを身につけよう」（安全管理）	国立信州高遠青少年自然の家 応急手当普及員
<b>5月22日（日）</b>		
8:00～10:00	演習Ⅱ②「もしものときの手当てを身につけよう」（安全管理）	上伊那広域消防本部高遠消防署 職員、 国立信州高遠青少年自然の家 応急手当普及員
10:00～12:00	説明Ⅱ「法人ボランティアって何するの？」（青少年教育施設におけるボランティア活動）	法人ボランティア
13:00～14:30	講義Ⅲ「“子どもと関わるボランティア活動”とは」（ボランティア活動の意義）	国立中央青少年交流の家所長 服部 英二 氏
14:30～15:00	説明Ⅰ②「法人ボランティアになるには？」（青少年教育施設におけるボランティア活動）	国立信州高遠青少年自然の家 ボランティア・コーディネーター
15:15～15:30	閉講式	



アイスブレイク



講義「“今”の子どもたちを知ろう」



演習「仲間と一緒に火をおこしてカレーをつくろう！」



演習「もしものときの手当てを身につけよう」



説明「法人ボランティアって何するの？」



講義「“子どもと関わるボランティア活動”とは」